



第94期のご報告

2014年4月1日から2015年3月31日まで

INVESTOR EXPRESS

株主・投資家の皆さまへ



Contents

- 1 株主・投資家の皆さまへ
- 3 中長期経営計画の概要
- 5 セグメント別の概況
- 7 トピックス
- 9 連結財務諸表(要約)
- 11 株主インフォメーション
- 13 会社の概要
- 14 CSRの取組み

小田急電鉄株式会社

株主・投資家の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は小田急グループに対するご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

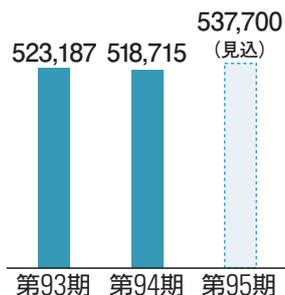
第94期の業績及び当社グループにおける取組みにつきましてご報告申し上げます。

取締役社長 **山木 利満**

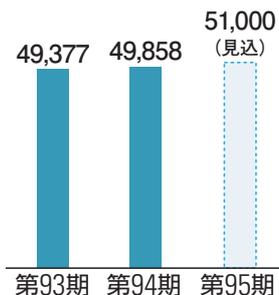


■ 連結業績ハイライト

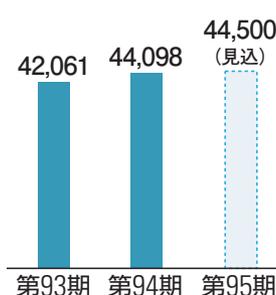
営業収益
(単位：百万円)



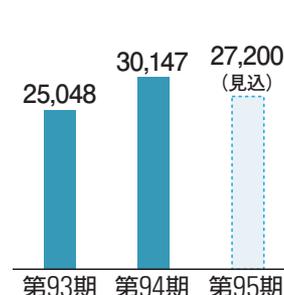
営業利益
(単位：百万円)



経常利益
(単位：百万円)



当期純利益[※]
(単位：百万円)



※連結財務諸表に関する会計基準の改正により、第95期から「親会社株主に帰属する当期純利益」に表示変更

第94期連結決算の概要

営業収益は5,187億1千5百万円と、前期に比べ44億7千1百万円の減収(前期比0.9%減)となりました。

一方、営業利益につきましては、運輸業において費用が減少したことなどから、498億5千8百万円と、前期に比べ4億8千1百万円の増益(前期比1.0%増)となったほか、経常利益につきましては、支払利息の減少などにより440億9千8百万円と、前期に比べ20億3千6百万円の増益(前期比4.8%増)となりました。

また、当期純利益につきましては、前期に固定資産の売却に伴う損失を計上したことによる反動などから、301億4千7百万円と、前期に比べ50億9千8百万円の増益(前期比20.4%増)となりました。

なお、当期純利益につきましては、3期連続で過去最高益を更新いたしました。

中長期経営計画の策定

当社グループでは、事業環境の変化に対応し、グループ経営理念の実現と更なる事業成長を遂げるため、第100期までに取り組むべき方向性を示した「長期ビジョン2020」と、これを受けた3年間の実行計画である「グループ中期経営計画(2015～2017年度)」を策定いたしました。詳細は、3ページから4ページをご参照ください。

経営理念*：小田急グループは、お客さまの「かけがえのない時間」と「ゆたかなくらし」の実現に貢献します。

行動指針：私たちは、経営理念の実現のため、3つの精神(真摯・進取・融和)を忘れることなく、お客さまに「上質と感動」を提供します。

グループが10年後の将来に向けて、主に第100期までに取り組むべき方向性を示したもの

「長期ビジョン2020」を受けて3年間で実行していく計画

*経営理念は変更なし

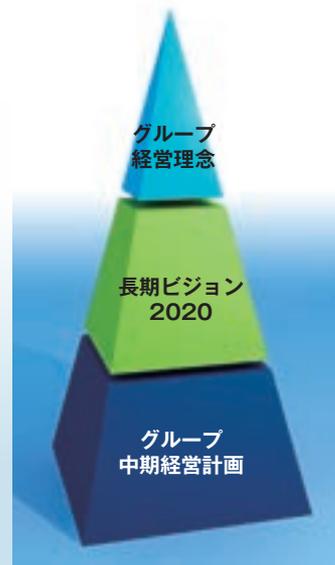
第95期の見通し

第95期につきましては、不動産業における住宅販売戸数の増加や流通業の小田急百貨店新宿店や町田店での増収等により、営業収益は5,377億円(前期比3.7%増)を見込んでおります。

これに伴い、営業利益につきましては、510億円(前期比2.3%増)、経常利益につきましては、445億円(前期比0.9%増)と、それぞれ増益を見込んでおります。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益*につきましては、特定都市鉄道整備準備金の取崩し終了等に伴う特別利益の減少により、272億円(前期比9.8%減)を見込んでおります。

*連結財務諸表に関する会計基準の改正により、第95期から「親会社株主に帰属する当期純利益」に表示変更



「長期ビジョン2020」及び 「グループ中期経営計画(2015～

長期ビジョン 2020

基本方針

「わたしたちの挑戦」
経営理念である『お客さまの「かけがえのない時間(とき)」と「ゆたかな暮らし」の実現』に向けて
2020年度までに事業基盤をより強固なものとし、成長の種を蒔き育て、
躍動的な企業グループを目指して、挑戦します。

グループ 成長戦略

テーマⅠ 沿線における複々線完成後のグループ収益を最大化する

- ミッション① 既存事業の選択的強化
- ミッション② 中核駅周辺再開発の推進

テーマⅡ 2020年度までに成長の種を蒔き育てる

- ミッション③ 既存事業の沿線外進出
- ミッション④ 新規事業の開発

連結数値目標

営業収益
6,000億円

EBITDA
1,000億円

有/E倍率※
7.0倍(上限)

※有利子負債/EBITDA倍率

- 成長投資枠として、400億円を設定(有/E倍率7.0倍を上回らない範囲)
- 連結営業収益・EBITDA・有/E倍率を重要な経営指標として設定するほか、ROA・ROEについても注視し、効率的な経営に努めてまいります。

2017年度)」の策定について

グループ中期経営計画(2015~2017年度)

重点施策

テーマⅠ 沿線における複々線完成後のグループ収益を最大化する

ミッション① 既存事業の選択的強化

- 複々線化効果の最大化及び交通ネットワークの拡充
- 訪日外国人旅行者や観光需要の取込み
- 多様化する顧客ニーズに対応したサービスの拡充

ミッション② 中核駅周辺再開発の推進

- 沿線中核駅周辺の再開発計画の検討・推進
- 都市間競争に打ち勝つ新宿西口における再開発計画の検討

テーマⅡ 2020年度までに成長の種を蒔き育てる

ミッション③ 既存事業の沿線外進出

- リゾート・宿泊主体型ホテルの出店
- ストアにおける出店強化
- 外食における海外を含めた出店の拡大
- 外部パートナーとの連携、成長投資枠の活用によるM&Aや不動産取得等の推進

ミッション④ 新規事業の開発

- 新たな不動産供給モデルの展開
- 不動産活用コーディネート事業の展開
- 百貨店やストアにおける新たなフォーマットによる出店推進
- Eコマースの展開

複々線化効果の最大化及び
交通ネットワークの拡充



経堂～千歳船橋間

訪日外国人旅行者や
観光需要の取込み



箱根フリーパス



江の島・鎌倉フリーパス

外部パートナーとの連携、
成長投資枠の活用による
M&Aや不動産取得等の推進



ホテルカンラ京都
※2015年2月 UDS(株)の株式一部取得

運輸業

営業収益

171,277百万円

(前期比 0.8%減)

営業利益

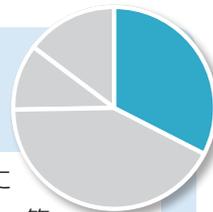
29,150百万円

(前期比 3.0%増)



売上高構成比

32.5%



当社の鉄道事業及び自動車運送事業におけるバス輸送が堅調に推移したほか、箱根、江の島・鎌倉方面における観光輸送も好調に推移いたしました。しかしながら、前期に発生した当社の鉄道事業における消費増税前の定期券等の先買いによる反動や、自動車運送事業における石油販売の営業終了などから営業収益は減収となりました。

一方、営業利益につきましては、自動車運送事業における費用が減少したことなどから増益となりました。

流通業

営業収益

222,684百万円

(前期比 1.1%減)

営業利益

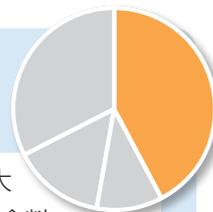
3,160百万円

(前期比 13.9%減)



売上高構成比

42.4%



小田急百貨店新宿店の免税売上が大きく増加した一方、同町田店での地下食料品売場の全面改装工事に伴う売場閉鎖の影響等により、営業収益は減収となりました。

これに伴い、営業利益につきましても、減益となりました。

※売上高構成比は外部顧客に対する売上高に基づき算出しております。

不動産業

営業収益

60,843百万円

(前期比 5.6%減)

営業利益

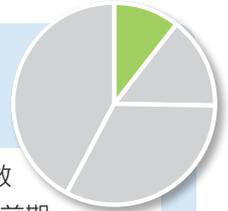
11,577百万円

(前期比 7.5%減)



売上高構成比

10.6%



不動産分譲業における住宅販売戸数の減少に加え、不動産賃貸業における前期の賃貸物件売却に伴う賃料収入の減少による影響等により、営業収益は減収となりました。

これに伴い、営業利益につきましても、減益となりました。

その他の事業

営業収益

100,215百万円

(前期比 4.5%増)

営業利益

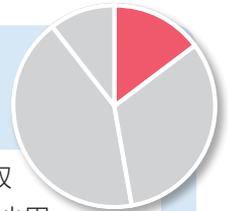
5,809百万円

(前期比 23.4%増)



売上高構成比

14.5%



ホテル業やレストラン飲食業で増収となったことに加え、広告代理業の(株)小田急エージェンシーにおける広告受注の増加などにより、営業収益は増収となりました。

これに伴い、営業利益につきましても、増益となりました。



「ロマンスカー・VSE」
10周年ヘッドマーク(イメージ)

ロマンスカー・VSE 就役10周年記念イベント開催

当社では、本年3月19日(木)にロマンスカー・VSEが就役10周年を迎えました。これを記念し、3月28日(土)、29日(日)には、VSEに乗りし全線を走破するツアーを実施するとともに、4月29日(水)までの間、記念乗車券・入場券セットの限定販売を実施いたしました。このほか、9月30日(水)出発分までの間、往復ロマンスカー代(特急券・乗車券)と箱根エリアで人気のホテル・旅館の宿泊がセットになったお得なプランを発売しております。



「odakyu Free Wi-Fi」ロゴ

無料Wi-Fiサービス 「odakyu Free Wi-Fi」 を開始

当社グループでは、昨年12月1日(月)から、国内外のお客さまに無料でご利用いただける6言語対応の無線LAN(Wi-Fi)サービス「odakyu Free Wi-Fi」を開始いたしました。多くのお客さまが訪れる新宿駅、箱根エリア、また両拠点を結ぶ一部のロマンスカー車内において、インターネット環境を無料で提供することで、お客さまの更なる利便性向上を目指します。また、本サービスは「箱根ナビ」にもダイレクトにアクセスでき、箱根の観光・交通情報などが入手可能となっております。

小田急百貨店町田店に「小田急 ぷらっとテラス」がオープン

(株)小田急百貨店では、町田店2階ファッションウォーク南側に飲食ゾーン「小田急ぷらっとテラス」をオープンいたしました。話題性のある店舗や地元で人気の店舗など、バラエティー豊かな全13店舗で構成されており、エリア内にはイートインコーナーも併設されております。町田店では、昨年11月に地下1階食品売場のリニューアルを実施しており、「小田急ぷらっとテラス」のオープンにより、隣接する服飾売場を含め、回遊性の高い売場構成となりました。



小田急ぷらっとテラス



世田谷エリアで住まい・暮らしに関する商品・サービスを拡充

当社グループでは、「お客さまの『かけがえのない時間』と『ゆたかな暮らし』の実現に貢献します。」という経営理念のもと、沿線エリアにおいてお客さまのニーズに対応した様々な事業活動を展開しております。世田谷エリアにおいては、既に学童保育施設や生活支援サービスなどを展開しておりますが、今般、シニアレジデンス事業に参入し、サービス付き高齢者向け住宅「レオダ経堂」(2014年11月)、「レオダ成城」(2015年1月)、介護付有料老人ホーム「くらら小田急祖師谷」(2015年1月)をオープンいたしました。加えて、昨年12月には、都心からのアクセスに優れ、充実した設備の賃貸マンションである「リージア経堂イーストプレイス」をオープンいたしました。今後もライフスタイルにあわせた様々なサービスを提供することで、「日本一暮らしやすい沿線」を目指してまいります。



リニューアルした
女性用大浴場

「小田急 山のホテル」 リニューアルオープン

(株)小田急リゾートが運営する「小田急 山のホテル」が4月21日(火)にリニューアルオープンいたしました。今回のリニューアルでは、「受け継がれた“自然”を、より上質な“おもてなし”で」をコンセプトに、大浴場を全面的に改装し、半身浴コーナーを新設したほか、1階から3階の客室の内装やバスルームを更新いたしました。また、庭園にはスロープを設置し、多くのお客さまが安心して散策できるようになりました。



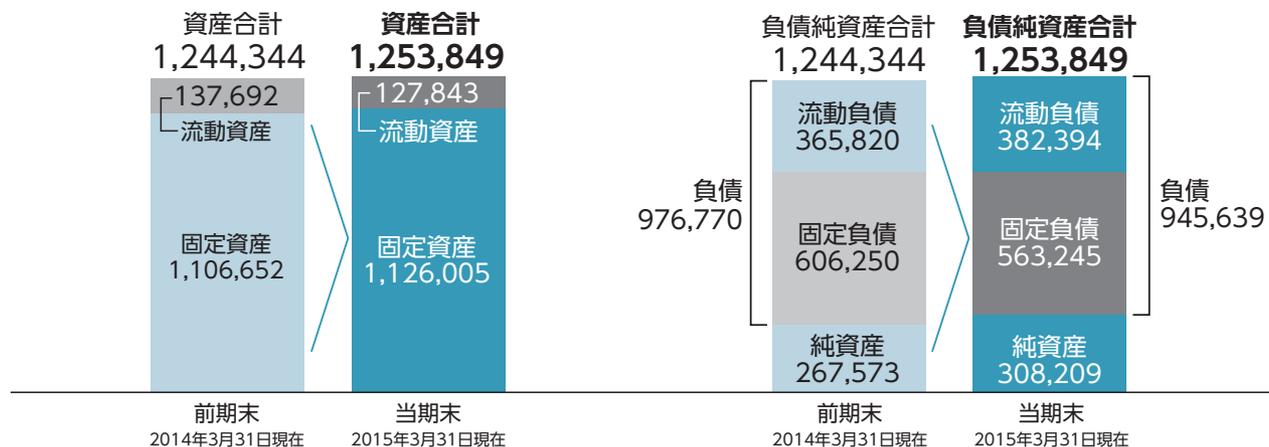
NODE
UEHARA

複合施設「NODE UEHARA」 オープン

当社と本年2月に子会社化したUDS(株)は、代々木上原駅前に住居と店舗が一体となった複合施設「NODE UEHARA」を4月27日(月)にオープンいたしました。本施設は、2階から4階までが単身世帯やDINKS世帯をターゲットとした、SOHOとしても利用可能な賃貸住宅、地下1階と1階はこだわりの食材などを活かしたグリルレストランやカフェ&グローサリーショップで、「食と住」が一体となった複合施設となっております。

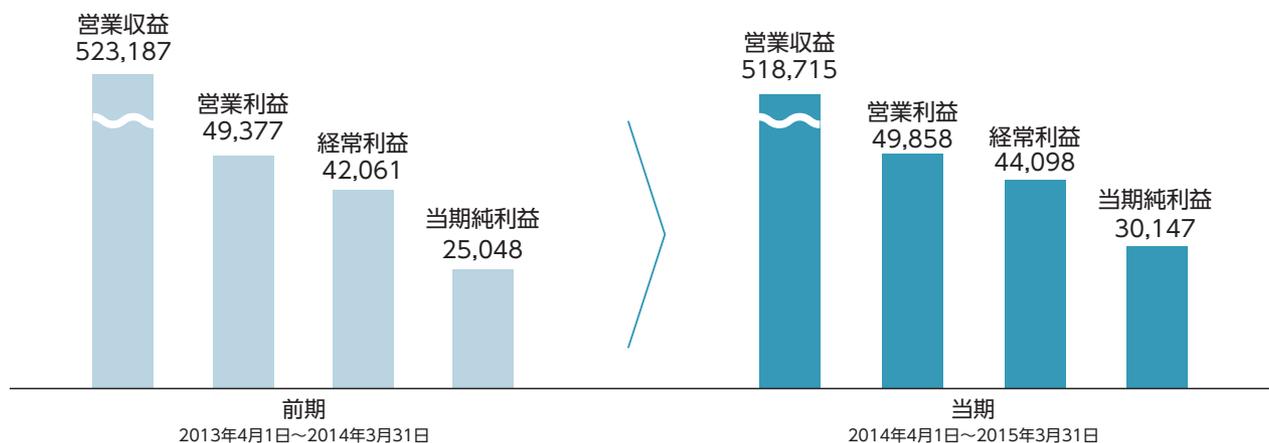
■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)



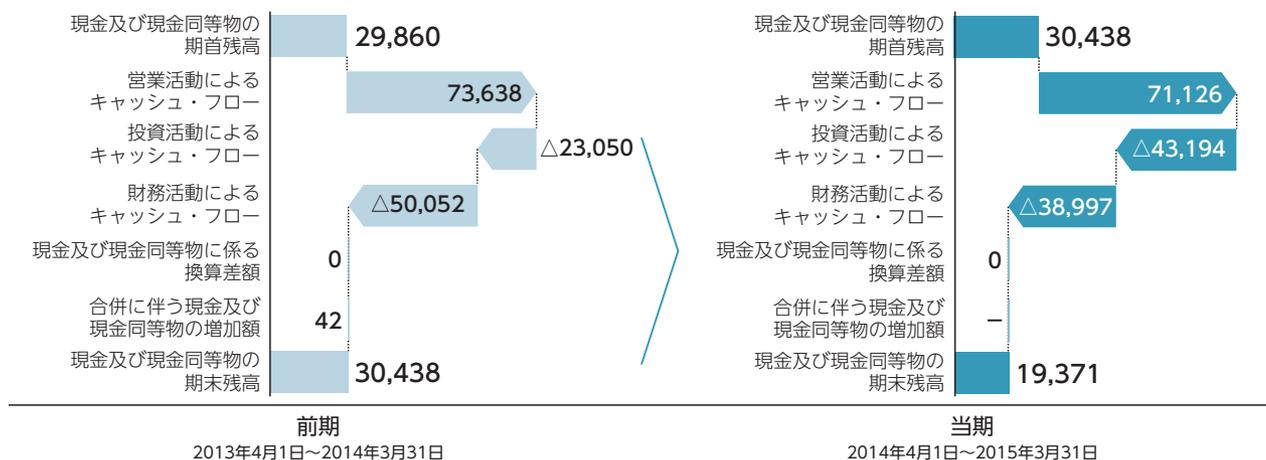
■ 連結損益計算書

(単位:百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



POINT 連結決算のポイント

◆ 資産の部

保有株式の時価上昇により95億4百万円増加いたしました。

◆ 負債の部

社債の償還等により311億3千1百万円減少いたしました。

◆ 純資産の部

当期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどから406億3千5百万円増加いたしました。

◆ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益472億5千8百万円に減価償却費や法人税等の支払額などを加減した結果、711億2千6百万円の資金収入となりました。

◆ 投資活動によるキャッシュ・フロー

設備投資の進捗等により、431億9千4百万円の資金支出となりました。

◆ 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済や社債の償還等により、389億9千7百万円の資金支出となりました。

株主優待制度のご案内

優待乗車証と優待割引券はお手元に届いたときからご利用いただけます。

毎年3月31日及び9月30日現在の1,000株以上の株主さまに、半期に1回保有株式数に応じた優待乗車証のほか、小田急グループ200以上の店舗・施設でご利用いただける優待割引券をお送りいたします。



株主優待乗車証 ※赤字部分：2014年11月発送分より拡充

| 保有株式数 | 乗車証の種類 | | 枚数(半期) |
|---------------------------|---------------------------|--|--|
| 60,000株以上 | ①～③ より選択 | ①小田急線全線及び小田急バス全線共通優待乗車証(定期券式) 小田急線全線優待乗車証(回数券式、1枚1乗車有効) | 1枚 30枚 |
| | | ②小田急線全線優待乗車証(定期券式) 小田急線全線優待乗車証(回数券式、1枚1乗車有効) | 1枚 60枚 |
| | | ③小田急線全線優待乗車証(回数券式、1枚1乗車有効) | 140枚 |
| | | 3年以上継続して 10,000株以上保有した場合 小田急線全線優待乗車証 (回数券式) 6枚追加 | |
| 30,000株以上 60,000株未満 | ①、② より選択 | ①小田急線全線優待乗車証(定期券式) 小田急線全線優待乗車証(回数券式、1枚1乗車有効) | 1枚 30枚 |
| 20,000株以上 30,000株未満 | 小田急線全線優待乗車証(回数券式、1枚1乗車有効) | ②小田急線全線優待乗車証(回数券式、1枚1乗車有効) | 110枚 |
| 10,000株以上 20,000株未満 | | 80枚 | |
| 7,000株以上 10,000株未満 | | 40枚 | |
| 5,000株以上 7,000株未満 | | 30枚 | |
| 3,000株以上 5,000株未満 | | 20枚 | |
| 1,000株以上 3,000株未満 | | 10枚 | |
| | | 4枚 | 3年以上継続して 3,000株以上 保有した場合 小田急線全線優待乗車証 (回数券式) 3枚追加 |

そのほかの 各種ご優待例



小田急百貨店、Odakyu OX
お買物割引券



小田急グループホテル
宿泊割引券、レストラン・バー割引券



箱根湯寮ほか
箱根エリア施設各種割引券

※掲載している株主優待制度は一例です。株主優待制度の詳細に関しては、当社ホームページ「株主の皆さまへ」をご覧ください。

30,000株以上の 株主さまの特典



GOLF
小田急 藤沢ゴルフクラブ
1,000～4,000円割引



GOLF
小田急 西富士ゴルフ倶楽部
約3,000～8,000円割引



CALENDAR
小田急電鉄カレンダープレゼント
※9月30日現在の株主さまが対象

※一部割引除外となる場合がございます。 ※優待の内容については、変更する場合がございます。

株主カレンダー

掲載の内容は2015年6月時点での予定です。

下旬 株主優待ご送付

7月

2015年

8月

9月

30日 基準日(権利付最終日25日)

10月

11月

12月

小田急

検索

www.odakyu.jp/

第94回定時株主総会決議等ご通知

2015年6月26日開催の第94回定時株主総会において、
以下のとおり報告並びに決議されましたのでご通知申し上げます。

報告事項

- ① 第94期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
上記事業報告、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果についてそれぞれ報告いたしました。
- ② 第94期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)計算書類報告の件
上記計算書類の内容について報告いたしました。

決議事項

●第1号議案 剰余金の配当の件

原案のとおり承認可決され、第94期の期末配当について以下のとおり決定いたしました。

- (1) 配当財産の種類
金銭
- (2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額
当社普通株式1株につき金4円50銭 総額3,262,295,003円
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日
2015年6月29日

これにより、当期の中間配当金(1株につき4円)を加えた1株当たりの年間配当金は、前期に比べ50銭増配の8円50銭となりました。

●第2号議案 定款一部変更の件

原案のとおり承認可決されました。

なお、変更の概要は次のとおりであります。

「会社法の一部を改正する法律」(平成26年法律第90号)の施行に伴い、業務執行を行わない取締役及び社外監査役でない監査役の間でも責任限定契約を締結することが可能となりましたので、適切な人材の招聘を容易にし、期待される役割を十分に発揮することを可能にするため、所要の変更を行いました。

●第3号議案 取締役15名選任の件

大須賀頼彦、山木利満、小川三木夫、星野晃司、金子一郎、抱山洋之、森田富治郎、朝日康之、藤波教信、天野 泉、下岡祥彦、小柳 淳の各氏が再選されるとともに、野間口有、中山弘子、山本俊郎の各氏が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。なお、上記のうち、森田富治郎、野間口有、中山弘子の各氏は社外取締役であります。

●第4号議案 「当社株式の大規模買付行為に関する対応策」継続の件

原案のとおり承認可決され、当社の企業価値・株主共同の利益を確保し、向上させることを目的として、「当社株式の大規模買付行為に関する対応策」を継続することといたしました。

以上

第94期期末配当金は、同封の「期末配当金領収証」により、ゆうちょ銀行全国本支店及び出張所並びに郵便局(銀行代理業者)でお受け取りください。また、銀行等の口座への振込をご指定の方には、「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたのでご確認ください。なお、すべての方に同封いたしております「配当金計算書」は、配当金をお受け取りになった後の配当金額の確認資料や、確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただけます(株式数比例配分方式をご指定の方につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください)。

■ 会社概要

| | |
|-----------|---------------------------------------|
| 設 立 | 1948年6月1日 (前身の小田原急行鉄道は1923年5月1日設立) |
| 本 社 事 務 所 | 東京都新宿区西新宿一丁目8番3号 |
| 資 本 金 | 603億5千9百万円 |
| 発行済株式の総数 | 736,995,435株 |
| 株 主 数 | 51,575名 (前期末比 4,951名減) |
| 事 業 内 容 | 鉄道事業、不動産業、その他事業 |
| 従 業 員 数 | 3,593名 |

■ 役員

2015年6月26日現在

| | | | |
|---------------|---------|-------|---------|
| 代表取締役 執行役員 | 大須賀 頼 彦 | 常勤監査役 | 早 野 実 |
| 代表取締役 執行役員 | 山 木 利 満 | 常勤監査役 | 高 原 俊 二 |
| 専務取締役 執行役員 | 小 川 三木夫 | 監 査 役 | 宇 野 郁 夫 |
| 専務取締役 執行役員 | 星 野 晃 司 | 監 査 役 | 深 澤 武 久 |
| 常務取締役 執行役員 | 金 子 一 郎 | 監 査 役 | 伊 東 正 孝 |
| 常務取締役 執行役員 | 山 本 俊 郎 | | |
| 取 締 役 | 森 田 富治郎 | 執行役員 | 五十嵐 秀 |
| 取 締 役 | 野間口 有 | 執行役員 | 荒 川 勇 |
| 取 締 役 | 中 山 弘 子 | 執行役員 | 黒 田 聡 |
| 取 締 役 | 朝 日 康 之 | 執行役員 | 立 山 昭 憲 |
| 取 締 役 | 藤 波 教 信 | | |
| 取 締 役 | 天 野 泉 | | |
| 取 締 役 | 下 岡 祥 彦 | | |
| 取 締 役 | 小 柳 淳 | | |
| 取 締 役 | 抱 山 洋 之 | | |

■ 株主メモ

| | |
|--------------------------------------|--|
| 決 算 期 | 3月31日 |
| 定 時 株 主 総 会 | 6月下旬 |
| 同総会議決権行使 株 主 確 定 日 | 3月31日 |
| 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日 | 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 |
| 株 主 名 簿 管 理 人 特 別 口 座 管 理 機 関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 事 務 取 扱 所 (郵便物送付先) (電話お問い合わせ先) | 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031 (フリーダイヤル) |

公 告 の 方 法 電子公告により行う。
ホームページアドレス <http://www.odakyu.jp/ir/koukoku/index.html>

上場株式等の配当等に係る10%^(所得税7% 住民税3%) 軽減税率の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率(所得税7%、住民税3%)は廃止され、本来の税率である20%(所得税15%、住民税5%)となっております。また、2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)は、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が施行されており、その所得額に対して2.1%が「復興特別所得税」として課税されています。そのため、株式等の配当等もその源泉所得税を徴収する際に「復興特別所得税」が併せて徴収されています。

〈上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について〉

| 配当等の 支払開始日 | 2014年1月1日～2037年12月31日 | 2038年1月1日～ |
|------------------|--|------------------------------------|
| 上場株式等の 配当等の税率 | 20.315% [内訳] 所得税(15%)・住民税(5%) + 復興特別所得税(0.315%)* | 20% [内訳] 所得税(15%) 住民税(5%) |

*15% × 復興特別所得税率2.1% = 0.315%
(上記は、2014年1月時点の情報をもとに作成しています。)

●上記は、上場株式等の配当に係る復興特別所得税について、一般的な情報をご提供するものであり、この内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄りの税務署、税理士等にお問い合わせください。

このページでは、当社グループが行うCSR活動についてご紹介をしています。

グリーンキャンペーンを実施しています。

当社グループでは、海岸の美化清掃を通じて沿線の豊かな自然環境を守っていくことを目的とした「小田急グリーンキャンペーン」を毎年実施しています。

2014年度は9月中旬に片瀬東浜海岸において開催しました。当日は、好天のもと、当社グループの社員・家族やOBに加え、ご応募いただいた一般参加者を含めた総勢675名が美化清掃を行い、海岸に捨てられた可燃・不燃物合わせて485.1キログラムのゴミを回収しました。

清掃活動終了後は、お楽しみイベントとして、小学生以下のお子さまを対象とした「宝探しゲーム」を開催し、会場となった砂浜では、ゲームに参加した子どもたちの明るい歓声が響いていました。

当社グループは、創業当初から「地域社会とともに発展する」という思いを持って事業を展開してきました。この思いは脈々と受け継がれ、「お客さまの『かけがえのない時間』と『ゆたかなくらし』の実現に貢献します。」という現在の小田急グループ経営理念を形作っています。この経営理念の実現を目指し、日々の業務を誠実に遂行しつつ、社会とともに持続的に発展していくことが当社グループのCSR(企業の社会的責任)と考え、「安全・安心の追求」「地域社会の変化への対応」「環境に配慮した取組みの推進」の3つの重点分野を中心に行っています。





小田急電鉄株式会社

〒160-8309 東京都新宿区西新宿一丁目8番3号
IR室 電話03(3349)2526 ホームページアドレス <http://www.odakyu.jp/>



本冊子は、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。